

付 録

国内外・県内のできごと（平成七年四月～平成十五年三月）

年 号 （西 暦）	県 内 主 要 事 項	参 考 事 項
平成七年 （一九九五）	四・一 高松桜井高校が開校 「県環境基本条例」施行 四・五 観音寺中央高校が第六十七回選抜高校野球大会 に初出場で初優勝 四・九 香川県議会議員選挙投、開票。新人十氏が当選 四・二二 公立学校で毎月第二土曜日に加え、第四土曜日 の学校週五日制がスタート 四・二三 統一地方選後半戦投、開票、高松市長選は増田 昌三氏が初当選 四・二九 香南町に「さぬきこどもの国」オープン 五・一 五月県議会臨時会開会（～五・二） 五・二六 高田宮ご夫妻を迎え、サンメッセ香川を主会場 に「第三回地域伝統芸能フェスティバル」開幕、 延べ約三十三万人来場（～二八） 五・二九 四国横断自動車道高松市内区間で初の幅くい打 ち式 六・四 観音寺市長選で白川晴司氏が初当選 六・一九 六月県議会定例会開会（～七・五）	四・九 東京都知事選で青島幸男氏、大阪府知事選で横 山ノック氏の無党派候補が当選 五・七 フランス大統領にジャック・シラク氏就任 五・一六 オウム真理教教祖・麻原彰晃容疑者を逮捕 五・二四 アフリカ・ザイール中央を中心にエボラ出血熱 流行 五・三一 青島都知事が世界都市博覧会の中止表明 六・一五 地方分権推進へ広域連合制度創設

六・二〇	瀬戸中央自動車道の通行車両数が三千万台突破
七・二三	第十七回参議院議員通常選挙投、開票。香川選挙区は真鍋賢二氏が返り咲き
七・二四	「水源の森百選」に大滝山と柏原溪谷選ばれる
七・二五	通産省が香川、岡山、徳島三県の「東中・四国スーパー・テクノ・ゾーン」認定
七・三一	小豆島東部周辺海域で赤潮発生
八・二八	香川用水の第一次取水制限（二〇％削減）
九・一	鴨部川流域下水道が一部供用開始
九・七	坂出・番の州で初の震災対策総合訓練
九・九	香川用水の第二次取水制限（三五％削減）
九・一六	県救急医療情報システムの運用開始
九・一九	香川用水第三次取水制限（五〇％削減）
九・二〇	香川とかめ工業団地竣工式
	中四国で初の県域パソコン通信「かがわネット」開局
六・二九	韓国ソウルの三豊百貨店で崩壊事故、五百二人が死亡
七・一	「製造物責任法」（PL法）施行
七・一〇	東京、札幌を皮切りにPHSサービス始まる
七・一九	ミャンマー軍事政権が民主化運動指導者のアウンサンスー・チー氏の自宅軟禁を六年ぶり解除
七・二三	従軍慰安婦問題で「女性のためのアジア平和国民基金」発足
七・二七	第十七回参議院議員通常選挙投、開票。新進党躍進も、自社との連立与党が過半数維持
七・三一	九州自動車道が全線開通し青森―鹿児島・宮崎間が高速道路で直結
八・五	コスモ信用組合が経営破たん
八・九	ベトナムと米国の国交正常化
八・一五	徳島自動車道徳島―藍住（延長九・一キロ）が開通
八・三〇	村山首相が戦後五十年の（村山談話）発表
九・五	兵庫銀行、木津信用組合が経営破たん
	フランスが南太平洋で核実験

平成八年 (一九九六)	九・二二 九月県議定会例会開会(一〇・一一) 県議会が中国及びフランスの核実験に抗議し、即時中止を求める決議案可決 一〇・二三 香川用水の取水制限を全面解除 一〇・二八 丸亀市で県立陸上競技場(仮称)起工式 一〇・三〇 公害等調整委員会が豊島問題で七対策案を提示 一一・七 県魚に「ハマチ」指定 一一・一一 県訪中友好代表団が出席し、中国・陝西省で中日友好和平の鐘及び鐘楼建設事業竣工式典 一一・二七 大幅な組織再編を盛り込んだ「県行政改革大綱」を正式決定 一二・一 十二月県議定会例会開会(一二・一九) 一二・五 中四国九県が災害応援協定締結 一二・九 西日本中央連携軸推進協議会が発足 一二・一九 県が初のテレビCM制作	九・二五 自民党総裁に橋本龍太郎氏就任 一〇・一一 HIV訴訟で国が患者に謝罪 一〇・三〇 東京地裁がオウム真理教に解散命令 一一・一 「新食糧法」施行、米の販売が原則自由化 一一・四 ラビン・イスラエル首相が暗殺される 一一・一六 韓国大検察庁が盧泰愚前大統領を逮捕 一一・二七 新潟県で中学一年生がいじめ苦に自殺 一二・三 韓国大検察庁が全斗煥元大統領を逮捕 一二・六 千葉県の中学校で女子生徒がいじめ苦に自殺 一二・一五 東京地検が山口敏夫元労相を特別背任容疑で逮捕 一二・一五 水俣病で村山首相が患者遺族に陳謝、政府が最終解決策提示 一二・一九 東京高裁がオウム真理教の解散を命じた東京地裁判決を支持、同教団の解散決定
平成八年 (一九九六)	一・一九 土庄町の〈土淵海峡〉がギネス認定 一・二三 高松市の片原町再開発計画を都市計画決定 一・二四 中四国サミット開催 一・二五 四国横断自動車道高松市内区間で初の用地買収交渉成立	一・五 村山首相が退陣表明 一・一一 自社さ連立の第一次橋本龍太郎内閣発足 一・一九 日本社会党が社会民主党(社民党)に党名変更

二・二〇	高松東高校白山分校で閉校式	二・二六	H I V訴訟で菅直人厚相が国の法的責任を認め、原告に直接謝罪
二・二三	二月県議会定例会開会（一・三・二二）	三・二三	台湾初の総統直接選挙で李登輝氏当選
二・二九	平井知事が県立医療短期大学の牟礼町建設を表明	三・二九	太平洋銀行が経営破たん
三・二一	県内地価が五年連続下落	四・一	金沢市、堺市など十二市が初の中核市移行
三・二五	「県二十一世紀長期構想」後期事業計画を策定	四・一二	沖縄・普天間飛行場の全面返還で日米合意
四・一	新タイプの三木高校が開校		
	J A C高松―鹿児島便が就航		
四・一九	高松港が貿易開港三十周年		
	三野町「宗吉瓦窯跡」が国史跡指定		
五・一	五月県議会臨時会開会（一・五・一）		
五・一三	香川大学が「工科系学部創設準備室」設置		
五・一八	香川産業頭脳化センター完成	五・二五	岡山で病原性大腸菌O157の発病を初確認
		五・三一	二〇〇二年W杯サッカー日韓共同開催が決定
五・二四	県道豊中仁尾線七宝山トンネル（全長千四百七十七）開通	六・八	中国が核実験
六・一	J A C高松―福岡線が一日二往復運転開始		
六・五	「残したい（日本の音風景百選）」に県内から二件	六・一八	「住専処理法」成立
六・一〇	知事、県議が初の資産公開	七・一三	大阪・堺市の小学校三十三校で病原性大腸菌O157による集団食中毒
六・一六	高松空港ビルに国際線コンコース、搭乗橋完成	七・二〇	アトラクタ五輪開幕（一・八・四）、女子マラソンで有森裕子選手が銅メダル
六・二〇	六月県議会定例会開会（一・七・八）		国民の祝日「海の記念日」施行
七・一〇	（日本の渚・百選）に県内から津田の松原、有明浜、満濃池の三カ所選定		
七・二七	香川県歴史博物館（仮称）起工式		
七・二八	大滝大川県立自然公園センターがオープン		

八・一	エア―ニッポンの高松―関西国際空港定期便が一日二往復に増便	八・四	新潟県巻町で原発建設の可否を問う全国初の住民投票、反対票が約六割占める
八・一七	播磨灘で赤潮発生、県東部海域で養殖マダイ六千二百四十匹がへい死		
八・二三	木田郡内で県内初の〇26患者が発生		
九・七	高松港頭地区土地区画整理事業起工式	九・一〇	国連総会で「包括的核実験禁止条約」(CTBT)採択
九・二〇	九月県議会定例会開会(一〇・九)		
	県が赤潮被害の終息宣言	九・二八	民主党結党、代表に菅直人、鳩山由紀夫両氏就任
九・三〇	香川用水が第一次取水制限(二〇%)		
一〇・一	エア―ニッポン高松―伊丹便(一日三往復)が完全ジェット化		
一〇・二〇	第四十一回衆議院議員選挙投、開票。香川一区は藤本孝雄氏、同二区は木村義雄氏、同三区大野功統氏、比例四国ブロックで森田一氏が当選	一〇・二〇	第四十一回衆議院議員選挙投、開票。小選挙区比例代表並立制の初適用で自民復調し共産は躍進、野党第一党の新進は伸び悩み、政権与党の社民、さきがけは大敗
一〇・二一	名誉県民で元香川県知事の金子正則氏死去、八十九歳		
一一・七	第二次橋本内閣で藤本孝雄氏が三度目の入閣、農水相に就任	一一・五	米大統領選でビル・クリントン氏再選
一一・一三	荻野副知事ら県訪問団を迎え、パラグアイ移住六十周年記念祭	一一・七	第二次橋本内閣発足。社民、さきがけが閣外協力に転じ、三年三カ月ぶり自民単独政権に
一一・一五	〈牟礼・庵治の石工用具〉が国の重要有形民俗文化財、丸亀高校記念館など四施設が国の登録文化財指定	一一・二一	阪和銀行が経営破たんし、戦後初めて預金払い戻し以外の業務停止命令
一二・二	県がホームページ開設		
一二・三	十二月県議会定例会開会(一・二・一九)		
一二・五	香川用水取水制限、二カ月ぶり全面解除	一二・五	広島原爆ドーム、厳島神社が世界遺産登録

	平成 九年 (一九九七)
一二・二七 県教委が出張所と分室を再編し、六教育事務所体制に 一二・二六 豊島産廃訴訟判決、高松地裁が処理業者に産廃撤去と慰謝料支払い命令	二・二一 JR高松駅で開業百周年記念事業 高松市水道資料館のPR館と資料館が国の登録文化財指定 二・二五 二月県議会定例会開会(一三・二五) 二・二六 JR坂出駅で高架開通式 二・二八 県推計人口百二万八千二百九十九人(一月一日現在)、前年同月に比べ八百六十三人の微増 三・八 白鳥・引田町で山林火災、約四百八十軒焼失(一・一一) 三・一六 高松空港乗降客、開港から七年三カ月で一千万人を突破 三・二〇 県社会福祉総合センター完成 三・二五 県議会が芦原義重関西電力名誉会長の名誉県民顕彰に同意 三・二七 県内地価公示が初の六年連続ダウン 三・二七 小豆島最大の多目的ダムとして吉田ダム(総貯水量二百三十六万ト)完成 三・三〇 国道四三八号三頭トンネル(全長二千六百四十八メートル)開通 四・一 全日空高松―札幌便の毎日運航始まる 四・五 県警察本部新庁舎の落成式
一二・二七 在ペルー日本大使公邸でテロリストによる占拠事件、現地大使ら約六百二十人が人質(一四・四・二二) 一二・二六 羽田孜元首相が新進党離党し太陽党結成	二・一 インフルエンザ猛威、全国で三百五人死亡 二・一九 神戸で連続児童殺傷事件(酒鬼薔薇事件) 中国の鄧小平元主席死去、九十二歳 三・一五 岡山自動車道(岡山JCT―北房JCT)が全線開通し日本海と太平洋が一本の高速道路でつながる 三・二二 秋田新幹線が開業 四・一 消費税三%から五%に増税 「容器包装リサイクル法」施行 四・二 最高裁が愛媛・玉ぐし料訴訟で違憲判決

-
- 四・一二 平井知事ら県訪問団迎え、ブラジル・サンパウロで南米香川県人会館落成式典
 - 四・二三 瀬戸中央自動車道の通行車両数が四千万台突破
 - 四・二三 コトデンそごうオープン
 - 四・二四 〈丸亀うちわ〉が国の伝統的工芸品に
 - 五・一 五月県議会臨時会開会（五・二）
 - 五・一〇 香川用水記念公園オープン
 - 五・二三 大野原町・豊稔池が国の登録文化財指定
 - 六・一 民主党香川が旗揚げ
 - 六・一〇 高松―釜山の国際コンテナ定期航路開設
 - 六・二〇 六月県議会定例会開会（七・八）
 - 七・一八 豊島産廃問題、県と住民側が公調委の中間最終合意案受け入れ
 - 八・一一 サンメッセ香川で終戦五十一年の県戦没者追悼式
 - 八・一六 県新行政庁舎起工式
 - 八・一七 四国四県で「全国中学校体育大会」開催。香川では水泳など四競技五種目を実施（二五）
 - 八・一八 県内路線価、五年連続ダウン
 - 九・九 ウインズ高松訴訟、高松地裁が住民側の請求棄却
-

- 四・二五 日産生命保険が保険会社として戦後初の経営破たん
 - 四・二九 「化学兵器禁止条約」発効
 - 五・一 イギリス総選挙で労働党が勝利、十八年ぶりに政権奪還
 - 六・一七 「臓器移植法」成立
 - 六・二八 神戸連続児童殺傷事件で中学三年の少年逮捕
 - 七・一 イギリスが中国に香港返還
 - 七・二 タイ・バーツの変動相場制導入でアジア通貨危機となりタイ、インドネシア、韓国がIMF管理に
 - 七・四 米国の探査機が火星着陸
 - 八・三一 ダイアナ元イギリス皇太子妃がパリで交通事故死
 - 九・五 ノーベル平和賞受賞のマザー・テレサ死去、八十七歳
 - 九・六 ヴェネツィア国際映画祭で北野武監督の『HANA・B・I』が金獅子賞（グランプリ）受賞
-

平成十年 (一九九八)	
一・一八 県高松土木事務所竣工式 一・二四 高松東ファクトリーパーク起工式 二・一二 豊島産廃の中間処理実験始まる 二・二〇 坂出で四国電力の高圧線鉄塔倒壊事件 二・二五 二月県議会定例会開会(一・三二・四)	九・二二 九月県議会定例会開会(一・一〇・九) 一〇・一 JAC高松―福岡線がYS11で復活 香川大学工学部開設 経営破たんの高松東部農協が解散、高松市中央農協に事業譲渡 一〇・一〇 県立丸亀競技場竣工式 一〇・一八 香川県県民ホール小ホールがオープン 一〇・二四 名誉県民の中川以良四経連初代会長が死去、九十七歳 一〇・二五 皇太子ご夫妻をお迎えして「第十二回国民文化祭・かがわ'97」開幕(一・一・三二) 一一・四 県の行政情報ネットワーク開通 一一・一一 第二回全国ため池サミットIN KAGAWA 開幕(一・一・二二) 一一・一八 J R本四備讃線の利用客数が一億人突破 一二・一 JAC高松―小松線の定期便就航 一二・二 十二月県議会定例会開会(一・二・一八) 一二・一五 平井知事が、サンポート高松での県立美術館整備の先送り表明
一・二三 太陽党、国民の声、フロム・ファイブ三党合流し民政党に改称 二・一 郵便番号七ケタ制度スタート 二・七 長野五輪が開幕(一・二・二二) 二・二五 金大中氏が韓国大統領に就任	一〇・一 長野新幹線が開業 一〇・八 金正日氏が北朝鮮総書記就任 一一・三 三洋証券が経営破たん、証券会社破たんは戦後初 一一・一六 サッカー日本代表がW杯サッカー(フランス大会)初出場を決める 一一・一七 北海道拓殖銀行破たん、都市銀行の倒産は戦後初 一一・二二 山一証券が経営破たん、自主廃業へ 一二・七 「介護保険法」公布 一二・一一 地球温暖化防止へ「京都議定書」採択 一二・二七 新進党解党

三・二二	高瀬町が国立西香川病院の受け入れ表明
三・二四	二月定例会本会議で平井知事が勇退表明
三・二五	県内地価公示が七年連続ダウン
三・二六	自動車専用道路の津田東―さぬき三木間（延長十五・六 ^{キロ} ）開通
三・二八	高松市で陝西省文華博開幕（五・五）
四・二	瀬戸大橋記念館がリニューアルオープン
四・一〇	瀬戸大橋開通十周年記念フェスティバル開幕（四・一一）
四・一八	満濃町の国営讃岐まんのう公園が一部開園
四・二三	県議会がホームページ開設
五・一	五月県議会臨時会開会（五・二）
六・二	JAC高松―松本便就航
六・一二	県都市計画審議会が琴電高架化を承認
六・二一	平井知事ら県訪問団を迎え、ブラジル移民九十年祭記念式典
六・三〇	六月県議会定例会開会（七・二四）
七・一二	第十八回参議院議員通常選挙投、開票。香川選挙区は山内俊夫氏、比例代表で月原茂皓氏が当選
七・一八	高松空港からイタリヤへ初のチャーター便就航
七・二四	県知事選めぐり自民党県議会の中堅・若手十二議員が脱会、新会派「自民党県政会21」結成
七・二八	県議会開会百十年を記念して「子ども議会」開催

四・五	明石海峡大橋が開通
四・二七	民主党に民政党、新党友愛、民主改革連合が合流し、新「民主党」結成
五・一一	インドが二十四年ぶり核実験
五・二八	パキスタンが初の核実験
五・三〇	社民党、橋本内閣への閣外協力を解消
七・一二	第十八回参議院議員通常選挙で自民敗北し参院過半数割れ
七・一三	橋本首相が退陣表明
七・二五	和歌山で毒物カレー事件、四人死亡し六十三人重軽傷

平成十一年 (一九九九)		
一・七 瀬戸中央自動車道の累計通行車両数が五千万台突破 一・二〇 一月県議会臨時会開会（一・二〇） 一・二九 サポート高松の港湾旅客ターミナルビル起工式 二・二四 二月県議会定例会開会（二・二六）	七・三〇 小渕内閣で真鍋賢二氏が環境庁長官として初入閣 八・一 香川を主会場に四国98総体開幕、県内では陸上競技など十七競技種目開催（八・二三） 八・一三 県知事選告示、新人四氏が立候補 八・一八 県議会自民党議員会の三氏が「自由民主党清交会」を結成 八・三〇 県知事選投、開票。真鍋武紀氏が初当選 香川県県議会議員補欠選挙投、開票。山田正芳氏（丸亀市選挙区）、辻村修氏（善通寺市選挙区）、栗田隆義氏（仲多度郡一区）が当選 九・一 県議会自民党議員会の二氏が新会派「自民党県政清風会」結成 九・一四 九月県議会臨時会開会（九・一四） 九・二八 九月県議会定例会開会（一〇・一四） 一〇・二四 健康生きがい中核施設「ツインパルながお」開館 一一・二 県が新年度予算編成で初のマイナス二〇％シーリング 一二・一 十二月県議会定例会開会（一二・二七） 一二・一七 副知事に川北文雄氏就任	七・三〇 自民単独の小渕恵三内閣が発足 八・一七 ルーブル実質切り下げと債務償還の一時停止を引き金にロシア財政危機 八・二〇 米国がアフガニスタン、スーダンのテロ関連施設をミサイル攻撃 一〇・二〇 新党さきがけ解党 一〇・二三 日本長期信用銀行が経営破たん 一二・一 「特定非営利活動促進法」（NPO法）施行 一二・一四 日本債券信用銀行が、二千七百億円の債務超過で経営破たん 一二・一八 政府が十一年四月からコメの輸入関税化決定 一・一 EU十二カ国が単一通貨のユーロ導入 一・一四 自連立の第一次小渕改造内閣発足 一・二五 コロンビアでM6.2の地震、約千九百人死亡 一・二九 景気浮揚を目的に地域振興券交付 二・七 ヨルダンのフセイン国王死去

- 三・一三 サンポート高松で都市型ホテル起工式
- 三・一六 県出納長に野田斉氏就任
- 三・二三 県が「新行政改革大綱」策定
- 三・二四 寒川町石田東で門入ダム完工式
- 三・二九 四国初の県医療ネット運用開始
- 四・一 高松市が中核市移行、県から二千五百四十九項目の事務移譲
- 四・二 香川県議会議員選挙告示
- 四・一一 大手前高松の労使紛争が二十年ぶり全面和解
- 四・一四 香川県議会議員選挙投、開票
- 四・三〇 県立医療短期大学で初の入学式
- 五・一六 四月県議会臨時会開会（一四・三〇）
- 常陸宮ご夫妻を迎え、満濃池森林公園で「全国野鳥保護のつどい」
- 五・一七 大川郡八町の合併構想白紙に
- 五・一八 県職員採用で七職種の上級職国籍条項を削除
- 六・三 新規産業創出支援センター「ネクスト香川」落成
- 六・二二 六月県議会定例会開会（一七・八）
- 七・二九 平井城一前知事が死去、七十六歳
- 八・九 八月県議会臨時会開会（一八・九）、故平井城一前知事の名誉県民顕彰に同意
- 八・二七 豊島産廃問題で県が直島処理案提示
- 八・三一 サンメッセ香川で故平井城一前知事の県民追悼式
- 九・二四 九月県議会定例会開会（一九・二三）
- 一〇・二七 フリーゲージトレイン導入へ瀬戸大橋線が調査対象路線に

- 三・三 日銀がゼロ金利政策導入
- 四・一 米の市場開放
- 四・一一 東京都知事選で石原慎太郎氏が初当選、大阪府知事選は横山ノック氏再選
- 五・一 瀬戸内しまなみ海道（延長五十九・四キロ）全線開通し、本四三橋時代が到来
- 六・二三 「男女共同参画社会基本法」成立
- 七・八 「地方分権一括法」成立、第一次分権改革が実現
- 八・九 「国旗・国歌法」成立
- 八・一二 「組織犯罪対策三法」（通信傍受法等）成立
- 九・三〇 茨木県東海村で日本初の臨界事故、二人死亡
- 一〇・五 自自公連立の第二次小沢改造内閣発足

	平成十二年 (二〇〇〇)		
一一・一六 県歴史博物館の一般公開開始まる 一一・二九 県海底土砂採取対策協議会が十七年度からの海砂採取全面禁止を了承 一二・一 十二月県議会定例会開会（一・二・二七） 一二・一六 高松空港で開港十周年記念事業	二・二四 二月県議会定例会開会（一・三・二四） 三・二二 直島町が豊島産廃の中間処理施設の受け入れを正式表明 三・二四 香川大学工学部のキャンパス完成 四・一 県内四十三単位農協が合併、全国最大規模の香川県農協（JA香川）発足 四・八 高松北署新庁舎が落成 四・一〇 県が「市町合併促進要綱」策定 四・一三 県新行政庁舎落成式 四・二九 皇太子ご夫妻を迎え、国営讃岐まんのう公園で「第十一回全国みどりの愛護のつどい」 五・一 五月県議会臨時会開会（一・五・二） 五・五 高松空港の東京便利利用客数が一千万人を突破 五・一九 豊島産廃で公調委が最終調停案を提示 五・三一 五月県議会臨時会開会（一・六・二）、豊島産廃処理最終調停案めぐり、〈県の謝罪〉など承認し全会一致で可決	二・六 大阪府知事選で太田房江氏が当選、日本初の女性知事誕生 三・一一 徳島自動車道井川池田―川之江東（延長二十一・五^{キロ}）開通、四国のXハイウェイ時代到来 四・一 介護保険制度スタート 四・一 自民、公明両党が自由党との連立解消 四・三 連立政権望む自由党議員グループが新党「保守党」結成 四・四 小淵内閣が総辞職 四・五 自公保連立の森喜朗内閣発足 五・一 第一火災海上保険が経営破たん、損保会社で初の倒産 五・一四 小淵前首相が死去、六十二歳	一二・二二 強制わいせつで有罪判決の横山大阪府知事が辞任 一二・三一 ロシア・エリツィン大統領が辞任、プーチン首相を大統領代行に指名

- 六・六 豊島産廃の公害調停成立
- 六・一九 六月県議会定例会開会（～七・二二）
- 六・二五 第四十二回衆議院議員選挙投、開票。香川選挙区は一区・平井卓也氏、二区・木村義雄氏、三区・大野功統氏、比例四国ブロックで森田 一氏が当選
- 七・四 第二次森内閣で森田 一氏が運輸相兼北海道開発庁長官として初入閣
- 八・二二 四国初の貨物専用駅、高松貨物ターミナル駅（愛称・JR四国桃太郎貨物駅）開業式
- 八・三一 綾歌町のレオマワールド休園
- 九・一八 豊島の産廃中間処理で県と直島町が協定締結
- 九・二二 九月県議会定例会開会（～一〇・一七）
- 九・二七 豊島で遮水壁工事に着手、産廃処理事業スタート
- 一〇・一 「県情報公開条例」施行
- 一〇・一七 国勢調査で県人口は百二万二千八百四十三人（一〇月一日現在）で三十五年ぶり減少
- 一〇・一七 永住外国人選挙権付与で県議会が都道府県で初の反対決議
- 一〇・二四 産業拠点の「FROM香川」落成式
- 一一・二七 十一月県議会定例会開会（～一二・二八）
- 一二・二三 三豊一市九町の合併構想白紙に

- 六・一六 皇太后ご逝去、九十七歳
- 六・二五 第四十二回衆議院議員選挙投、開票。連立与党が安定多数確保、民主党も躍進し百二十四議席確保
- 六・二九 雪印乳業製の低脂肪乳による集団食中毒
- 七・一二 大手百貨店のそごうグループが民事再生法の適用申請
- 七・一九 沖縄サミット開催を記念して新二千円札発行
- 七・二一 九州・沖縄サミット開幕（～二三）
- 七・二八 四国縦貫自動車道が全線開通
- 八・一 新五百円硬貨を発行
- 八・一一 日銀がゼロ金利政策解除
- 九・二四 シドニー五輪女子マラソンで高橋尚子選手が日本女子初の金メダル
- 一〇・六 鳥取で震度6強の地震（鳥取西部地震）発生、全半壊・一部破壊家屋は約二万六百棟
- 一〇・一〇 筑波大名誉教授の白川英樹氏がノーベル化学賞
- 一〇・二〇 協栄生命保険が戦後最大の負債抱え経営破たん
- 一一・二四 「ストーカー規制法」施行
- 一一・二六 米大統領選でジョージ・W・ブッシュ氏当選
- 一二・一 BSデジタル放送開始

平成十三年
(二〇〇一)

- 一・一八 高松東ファクトリーパーク進出第一号の日プラ
本社工場が稼働
- 一・二二 コトデンそごうが「民事再生法」申請
- 二・ 九 丸亀高附属幼稚園で閉園式、五十七年の歴史に幕
- 二・一六 新年度県当初予算案、三年ぶりにプラス成長
- 二・一九 県がバランスシート発表、資産総額一兆七千三百五十七億円
- 二・二〇 二月県議会定例会開会（三・二三）
- 三・ 一 多度津測候所閉鎖、多度津特別地域観測所に移行
- 三・二四 高松東ファクトリーパーク竣工式
- 三・二六 「県新世紀基本構想」の前期計画策定
高松国際ホテルが経営破たん、『民事再生法』
の適用申請
- 三・二九 四国横断自動車道高松中央―板野（延長四十五・
八キロ）開通
- 四・ 七 公立初の中高一貫校、高松北中学校で入学式
- 四・一〇 香川大学を本部に「希少糖国際学会」設立
- 四・一五 コトデンそごう閉店、四年間の歴史に幕
- 五・ 一 五月県議会臨時会開会（五・二）
- 五・一三 サポート高松がオープン、オープニングフェ
スティバル（二・一三）に八万二千人訪れる
- 五・二二 全日空ホテルクレメント高松が開業

- 一・ 六 省庁再編で一府二十二省庁が一府十二省庁に
- 一・二三 額賀福志郎経済財政担当相がKSD汚職事件巡
る献金受領で辞任
- 一・二六 インド西部地震（M7.9）、約二万人死亡
- 二・一〇 宇和島水産高校の実習船がハワイ沖で米原子
力潜水艦と衝突して沈没、実習生ら九人死亡、
十二人負傷（えひめ丸事故）
- 三・ 一 KSD汚職事件で村上正邦元労相を受託収賄容
疑で逮捕
- 三・二四 安芸灘を震源に芸予地震（M6.7）、死者・行
方不明二人と全半壊・一部破壊家屋が約四万七
百棟
- 四・ 一 「情報公開法」施行
- 四・一三 第一火災海上保険、救済企業なく解散
- 四・二六 「DV防止法」公布
小泉純一郎氏が第八十七代首相に就任、自公保
連立の小泉内閣発足

五・三〇 大内町など大川東部三町が合併協定書に調印、
「東かがわ市」誕生へ

六・二〇 六月県議会定例会開会（一〇・二一）

七・二九 第十九回参議院議員通常選挙投、開票。香川選
挙区は真鍋賢二氏が四選

八・三 豊島産廃の中間処理施設起工式

八・九 サポート高松のシンボルタワー起工式

八・二〇 志度町など大川西部五町が合併協定書に調印、
「さぬき市」誕生へ

八・二一 県が全国初の木材土制度導入、二人に認定証

九・一 高松天満屋がオープン

九・一九 県内基準地価、住宅地二・五％、商業地五・二％
と過去最大の下落幅

九・二一 九月県議会定例会開会（一〇・二七）

一〇・二五 真鍋知事が東かがわ市、さぬき市に合併決定書
を交付

一〇・二六 第五十五回全国レクリエーション大会が開幕、
全国から四万人超が参加（一二・二八）

一一・一五 高松・丸亀町G街区再開発組合が発足

一一・二六 十一月県議会定例会開会（一二・二七）

一二・七 琴電が「民事再生法」適用を申請、バス部門も
再生法申請

一二・二七 県議会が「県外産廃条例」可決

六・八 大阪・池田市の大阪教育大附属池田小学校で学

童殺傷事件、児童八人死亡

七・二九 第十九回参議院議員通常選挙投、開票。自民復
調し、与党が安定多数を確保。民主は躍進する
も社民は選挙区全敗し、共産も激減

九・一〇 千葉で国内初の狂牛病（BSE）感染牛を確認

九・二一 米国で大規模同時多発テロ事件、死者三千人以上

九・二二 日経平均株価終値が昭和五十九年以来の二万円
割れ

一〇・七 米英がアフガニスタン空爆開始

一〇・二〇 野依良治名古屋大教授がノーベル化学賞受賞

一二・一 愛子内親王ご誕生

平成十四年
(二〇〇二)

一・二四 県農業試験場で公金不正流用発覚

二・一二 真鍋知事が四年間で七億五千万円の琴電支援表明

二・一九 二月県議会定例会開会（一・三・二二）

香川町の認可外保育施設で園児死亡

三・一五 県預け金（プール金）問題調査報告、不正費消に伴う返還額は一億八千五百七十万円

三・二〇 県議会が二〇〇〇年度決算を県政史上初の不認定

三・二八 県が預け金問題で職員ら二千百十一人処分、三人告発し、二人を懲戒免職

環境省などが「直島エコタウン」承認

四・一 大川郡西部五町が合併して「さぬき市」発足

県内二校目となる公立中高一貫校の高瀬のぞみが丘中学校開校

四・一三 公立小・中・高校の完全学校週五日制スタート

四・二七 高松空港で高松―ソウル便就航十周年記念行事

五・一 五月県議会臨時会開会（一・五・二）

五・一二 さぬき市長選で赤澤申也氏当選、初代市長に就任

五・一三 サポート高松第一期工事完成記念式典

六・二二 六月県議会定例会開会（一・七・二二）

六・二八 県教委で新たな預け金三百六十万円、関係職員十一人を処分

七・二二 四国横断自動車道鳴門―板野間が開通。高松自動車道と神戸淡路鳴門自動車道が直結

八・八 県知事選告示、現職と新人二人が立候補

八・一六 香川県議会議員補欠選挙告示。善通寺市選挙区

一・二九 ブッシュ米大統領が一般教書演説で北朝鮮、イ

ラク、イラン三国を「悪の枢軸」と非難

二・八 ソルトレイクシティ冬季五輪開幕（一・二四）

四・一 「DV防止法」全面施行

五・二八 日本経済団体連合会（日本経団連）が発足

五・三一 日韓合同開催のW杯サッカー開幕（一・六・三〇）

六・一九 収賄容疑で鈴木宗男衆院議員を逮捕

六・二三 岡山県新見市長・市議選で初の電子投票

七・九 アフリカ連合（AU）が発足

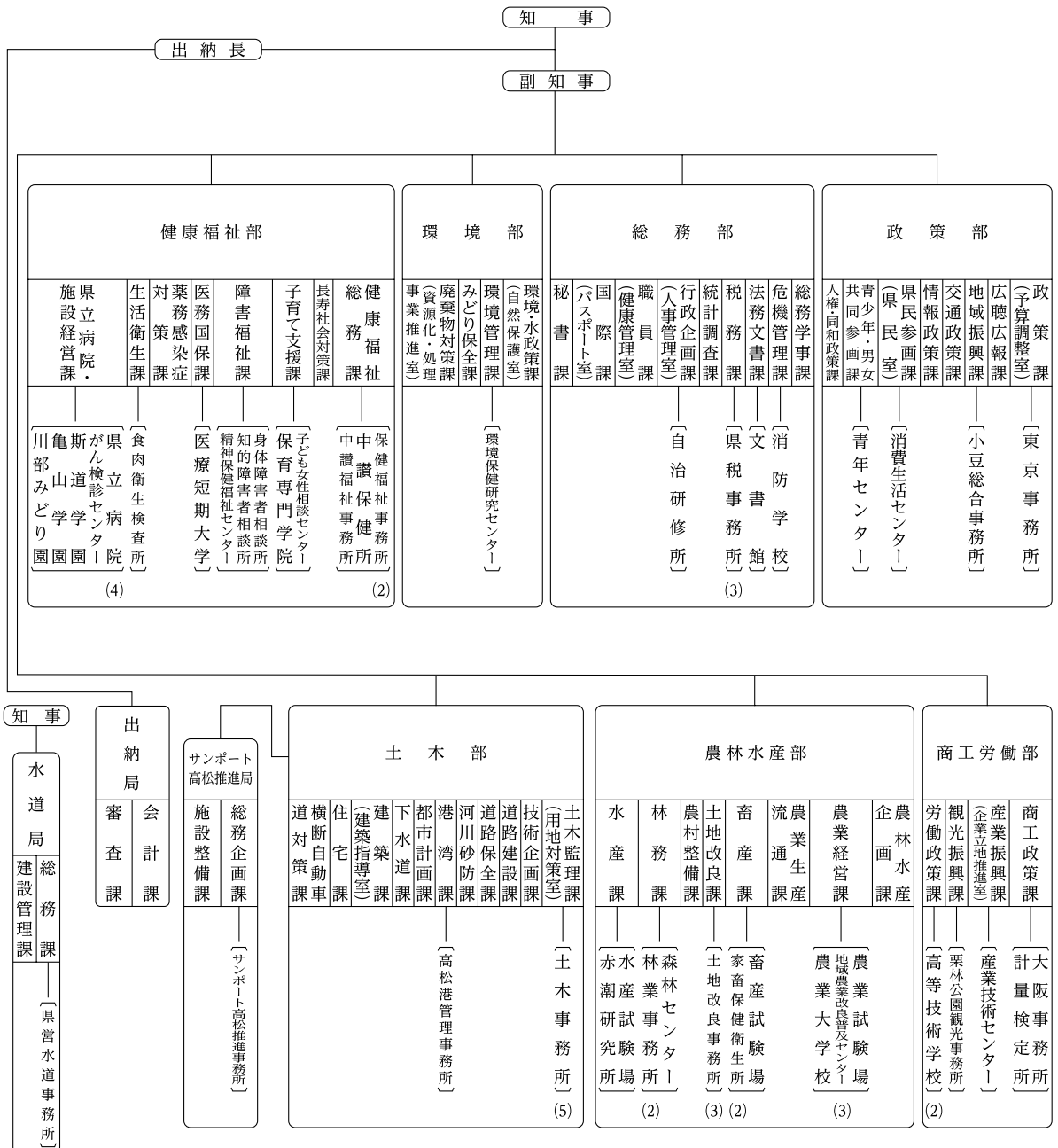
八・五 住民基本台帳ネットワークシステム稼働

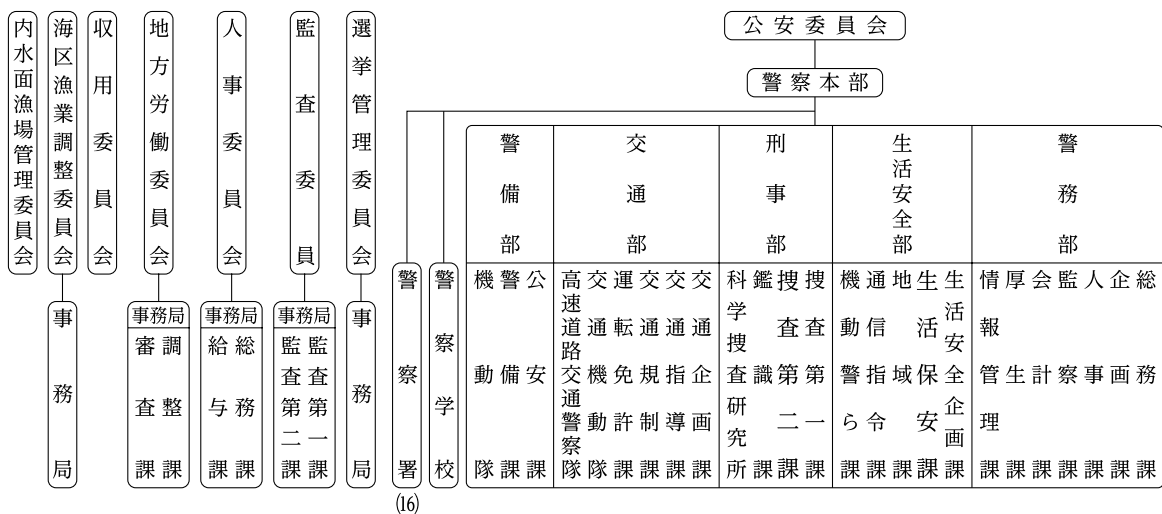
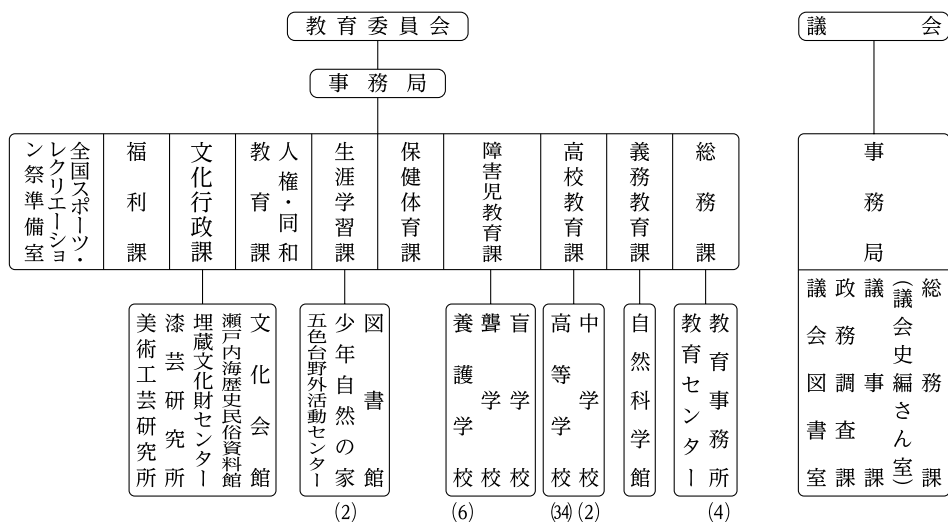
八・六 日本ハム牛肉産地偽装工作が発覚

平成十五年 (二〇〇三)	一・一四 県が環境監視員制度を創設、百十二人に委嘱状 一・三〇 県預け金新たに五千八百万円。知事、教育長ら減給処分 二・一九 二月県議会定例会開会（一・三・一八） 二・二八 県教委が民間人三氏を校長に登用 三・一七 県議会が、預け金など不適切経理で県の二〇〇一年度決算二議案を不認定	一・一〇 北朝鮮が「核拡散防止条約」（NPT）脱退を宣言 二・一 米スペースシャトル・コロンビアが大気圏再突入時に空中分解、宇宙飛行士七人死去
	で高田良徳氏が無投票初当選 八・二〇 丸亀市本島で林野火災、約百六十軒焼失し鎮火（一・九・三） 八・二五 県知事選投、開票。真鍋武紀氏が再選 九・九 県警が受託収賄容疑で米沢正文宇多津町長逮捕 九・一二 善通寺市議会が合併協議会設置案を否決、中讃三市八町の合併構想は白紙に 九・一三 九月県議会臨時会開会（一・九・一三） 九・二四 九月県議会定例会開会（一・一〇・一七） 九・三〇 栗林公園動物園が閉園、七十二年の歴史に幕 一〇・一 三豊地区南部一市五町の合併協議会が発足 一〇・二〇 出直し宇多津町長選で谷川実氏が初当選 一〇・二三 中讃二市七町の合併を正式断念 一〇・二四 中国西安で空海記念碑建立二十周年記念式典、真鍋知事ら県代表団百五十人出席 一〇・二六 小豆三町の合併協議白紙に 一一・二六 十一月県議会定例会開会（一・一二・二七） 一二・一四 詫間町栗島で山林火災、約二十九軒焼失 一二・一七 県議会が川北文雄副知事の再任同意 一二・二七 県が「市町合併支援プラン」公表	九・一七 小泉首相訪朝、金正日総書記が拉致問題を公式謝罪 一〇・八 小柴昌俊東大名誉教授がノーベル物理学賞受賞 一〇・九 田中耕一氏がノーベル化学賞受賞。物理、化学のダブル受賞は日本初 一〇・一五 北朝鮮に拉致されていた日本人五人が二十四年ぶり帰国 一二・一一 和歌山地裁が毒物カレー事件で死刑判決

三・一九 県出納長に泉浩二氏就任 三・二四 地価公示、住宅・商業地とも十二年連続下落 三・二五 東京・新橋に「せとうち旬彩館」開設、知事らオー ブン祝う 三・三〇 四国横断自動車道高松中央―高松西間の供用開 始、高松自動車道が全線開通	三・一九 米・英軍がイラク侵攻作戦開始

県の行政組織 (平成 14 年 4 月 1 日現在)





県の財政状況

予算・決算の推移（平成7年度～平成14年度）

（単位：千円、％）

区 分 \ 年 度	平成7年度	対前年度比	平成8年度	対前年度比
-----------	-------	-------	-------	-------

I 一般会計

当初予算額	477,083,000	105.2	500,234,000	104.9
歳入決算額A	510,204,225	106.0	529,617,653	103.8
歳出決算額B	501,068,369	106.1	519,671,605	103.7
形式収支C(A-B)	9,135,856	104.3	9,946,048	108.9
翌年度へ繰り越すべき財源D	6,852,702	122.1	6,817,426	99.5
実質収支E(C-D)	2,283,154	72.5	3,128,622	137.0
単年度収支F(E-前年度E)	△ 864,135	—	845,468	—

II 特別会計（※）

当初予算額	75,413,940	109.4	97,440,498	129.2
歳入決算額	76,198,961	114.8	112,070,216	147.1
歳出決算額	70,850,145	110.2	108,708,853	153.4

III 企業会計（県立病院事業、水道用水供給事業、工業用水道事業、五色台水道事業）

当初予算額（支出）	36,936,460	94.2	39,292,388	106.4
収入決算額	32,673,815	92.8	33,840,035	103.6
支出決算額	34,813,009	89.8	35,787,563	102.8

（単位：千円、％）

区 分 \ 年 度	平成9年度	対前年度比	平成10年度	対前年度比
-----------	-------	-------	--------	-------

I 一般会計

当初予算額	521,273,000	104.2	537,412,000	103.1
歳入決算額A	529,305,726	99.9	566,107,354	107.0
歳出決算額B	519,755,813	100.0	554,129,365	106.6
形式収支C(A-B)	9,549,913	96.0	11,977,989	125.4
翌年度へ繰り越すべき財源D	6,768,046	99.3	8,769,861	129.6
実質収支E(C-D)	2,781,867	88.9	3,208,128	115.3
単年度収支F(E-前年度E)	△ 346,755	—	426,261	—

II 特別会計（※）

当初予算額	99,458,483	102.1	93,465,174	94.0
歳入決算額	98,102,467	87.5	105,899,068	107.9
歳出決算額	94,372,413	86.8	99,172,279	105.1

III 企業会計（県立病院事業、水道用水供給事業、工業用水道事業、五色台水道事業）

当初予算額（支出）	37,781,783	96.2	36,782,853	97.4
収入決算額	32,565,202	96.2	32,350,586	99.3
支出決算額	35,883,772	100.3	34,883,884	97.2

(単位：千円、%)

区 分 \ 年 度	平成11年度	対前年度比	平成12年度	対前年度比
-----------	--------	-------	--------	-------

I 一般会計

当 初 予 算 額	526,624,000	98.0	505,478,000	96.0
歳 入 決 算 額 A	547,330,382	96.7	536,516,240	98.0
歳 出 決 算 額 B	535,760,190	96.7	523,404,364	97.7
形 式 収 支 C(A-B)	11,570,192	96.6	13,111,876	113.3
翌年度へ繰り越すべき財源 D	8,336,800	95.1	9,866,410	118.3
実 質 収 支 E(C-D)	3,233,392	100.8	3,245,466	100.4
単年度収支 F(E-前年度E)	25,264	—	12,074	—

II 特別会計(※)

当 初 予 算 額	76,912,685	82.3	85,002,250	110.5
歳 入 決 算 額	96,259,121	90.9	89,454,297	92.9
歳 出 決 算 額	91,720,203	92.5	85,229,251	92.9

III 企業会計(県立病院事業、水道用水供給事業、工業用水道事業、五色台水道事業)

当 初 予 算 額 (支 出)	44,272,944	120.4	37,140,233	83.9
収 入 決 算 額	35,154,177	108.7	32,650,839	92.9
支 出 決 算 額	40,140,554	115.1	34,635,517	86.3

(単位：千円、%)

区 分 \ 年 度	平成13年度	対前年度比	平成14年度	対前年度比
-----------	--------	-------	--------	-------

I 一般会計

当 初 予 算 額	513,702,000	101.6	504,209,000	98.2
歳 入 決 算 額 A	521,986,342	97.3	518,123,085	99.3
歳 出 決 算 額 B	509,920,028	97.4	505,944,026	99.2
形 式 収 支 C(A-B)	12,066,314	92.0	12,179,059	100.9
翌年度へ繰り越すべき財源 D	8,816,016	89.4	7,407,634	84.0
実 質 収 支 E(C-D)	3,250,298	100.1	4,771,425	146.8
単年度収支 F(E-前年度E)	4,832	—	1,521,127	—

II 特別会計(※)

当 初 予 算 額	69,274,625	81.5	66,763,277	96.4
歳 入 決 算 額	66,941,444	74.8	65,497,243	97.8
歳 出 決 算 額	63,594,545	74.6	61,962,484	97.4

III 企業会計(県立病院事業、水道用水供給事業、工業用水道事業、五色台水道事業)

当 初 予 算 額 (支 出)	36,590,697	98.5	38,562,677	105.4
収 入 決 算 額	32,835,291	100.6	33,339,171	101.5
支 出 決 算 額	35,115,757	101.4	35,334,969	100.6

(※)『II 特別会計』は、「母子寡婦福祉資金」、「農業改良資金」、「小規模企業者等設備導入資金(「中小企業近代化資金」を平成12年度から名称変更)」、「臨海工業地帯造成事業」、「公共用地先行取得事業」、「集中管理」、「証紙」、「栗林公園」、「吉野川総合開発香川用水建設事業」、「番の州地区臨海工業用地造成事業」、「林業改善資金」、「沿岸漁業改善資金」、「流域下水道事業」、「駐車場事業」、「内陸工業団地造成事業」、「高松港頭地区土地区画整理事業」の合計。

参考文献・資料

- ・香川県議会会議録（香川県議会議事務局・平成7～平成15）
- ・広報 香川（香川県広報協会・平成7～平成15）
- ・せんきよの記録（香川県選挙管理委員会・平成7～平成15）
- ・香川県21世紀長期構想事業計画（香川県企画部・平成8）
- ・第三次香川県民福祉総合計画（香川県）
- ・香川県新世紀基本構想（香川県企画部・平成13）
- ・高松空港ビル株式会社10年史（高松空港ビル株式会社・平成9）
- ・至誠一貫～平井城一追悼集（平井城一追悼集出版委員会・平成12）
- ・第12回国民文化祭・かがわ'97公式記録（文化庁、香川県・平成10）
- ・大局先見 熟慮断行～真鍋県政3期12年の記録（「真鍋県政3期12年の記録」出版委員会・平成30）
- ・香川県農業試験場百年史（香川県農業試験場・平成11）
- ・アルゼンチン香川県人会創立35周年記念誌（アルゼンチン香川県人会・平成17）
- ・吉田ダム工事誌（香川県・平成10）
- ・本州四国連絡橋公団30年史（本州四国連絡橋公団・平成12）
- ・香川県・陝西省友好提携10周年記念誌（財団法人香川県国際交流協会・平成17）
- ・サンポート高松 港湾再開発事業の記録（運輸省第三港湾局高松港湾空港工事事務所・平成12）
- ・瀬戸大橋架橋史 写真編（瀬戸大橋架設推進香川県協議会・平成元）
- ・高松自動車道建設史（高松自動車道建設史制作委員会・平成15）
- ・香川の水資源（香川県政策部水資源対策課・平成23）
- ・香川県教育会百年の歩み（香川県教育会・平成9）
- ・財政事情（香川県）
- ・四国新聞、読売新聞、山陽新聞、朝日新聞、産経新聞

写真提供：香川県、（公社）香川県観光協会、四国新聞社、国土交通省、四国地方整備局、日本道路公団四国支社、高松空港ビル（株）

あとがき

『香川県議会史』第七巻は、平成七年四月から十五年三月までの二期八年間の県議会の活動を中心にとまとめた。昭和二十二年の『地方自治法』施行後の県議会の活動は既に第六巻まで刊行され、本書はそれに続くものである。

第七巻に収録したこの期間は、日本国内外とも激動の時代だった。米国の同時多発テロ事件や相次ぐ紛争は、平和のあり方を厳しく問うものだった。国政に目を転じると、無党派層の台頭が選挙を大きく左右するようになり、連立の枠組みにも大きな影響を及ぼした。また、バブル崩壊によって金融・保険業界の相次ぐ破たんが国民生活を直撃、阪神・淡路大震災は、防災に対する国民の意識を大きく変えた。県内では、永年の県政重要課題だった豊島産廃問題が二十五年ぶりに全面解決し、四国横断自動車道の県内区間は全線開通し、本四三架橋も完成して本格的なハイウエー時代が到来した。

本書の編さん作業は第六巻の刊行直後から取りかかり、令和四年度から資料収集並びに執筆を進めた。執筆に当たっては、第六巻までと同様に読まれる議会史を目指した。世界的なコロナ禍が編さん作業に及ぼす影響も少なからずあったが、関係機関の多大な理解と協力で目標とした期間内で刊行に至った。関係各位に心より感謝申し上げます。

議会の活動記録は、ページ数に限界があるため要約させていただいた。各議員や理事者の本会議場での発言の意図並びに議会活動の一端を少しでもくみ取っていただければ幸いである。

令和七年二月

議会史編さん室室長

中野 等

香川県議会史 第七卷

令和七年二月二十六日 発行

発行者 香川県議会事務局
編集 香川県議会史編さん室
制作 株式会社羽野編集事務所
印刷 株式会社ムレコミュニケーションズ